

がん化学療法レジメン登録書

登録番号:13-129

がん種/レジメン名		実施区分	適応疾患分類	抗癌剤適応分類					
胃がん アブラキサン療法		点滴静注	日常診療(治療)	進行・再発・転移癌					
				2nd, 3rd, 4th.以降					
1クール of 投与期間			21日 / クール					備考(最大投与回数等)	
Day	投与順	薬品名(成分名)	投与量	単位	溶解液・液量	投与時間	投与ルート		
1	1	デカドロン	8	mg	生理食塩液 50ml	15分	Div.		
	2	アブラキサン	260	mg/m ²	生理食塩液 アブラキサン 1Vあたり 20mlにて溶解	30分	Div.		
	3				生理食塩液 50ml	15分	Div.		

【投与開始基準】

項目	投与開始基準
白血球数	≥4,000/mm ³ ・≤12,000/mm ³
好中球数	≥2,000/mm ³
血小板数	≥100,000/mm ³
AST,ALT	≤ULN×2.5倍
T-bil	≤1.5mg/dl
SCr	≤1.5mg/dl
心電図	臨床問題となる異常所見なし
末梢神経障害	≤Grade1

【投与量の増量基準】

なし

【投与量の減量基準】

* Grade3以上の副作用が出現した場合、原則は担当医判断で減量する。				
項目	減量基準	再開基準	減量段階	投与量
好中球	<500/mm ³	≥1,500/mm ³	1段階減量	220mg/m ²
発熱性好中球減少症	発現	回復	2段階減量	180mg/m ²
血小板数	<50,000/mm ³	≥100,000/mm ³		
末梢神経障害	≥Grade2	≥Grade1		
皮膚障害	≥Grade2	≥Grade1		
粘膜炎又は下痢	≥Grade3	≥Grade1		
非血液毒性(脱毛除く)	≥Grade3	≥Grade2		

〔アブラキサン〕
適正使用ガイドより抜粋

【特に注意すべき副作用と対策】

- ・末梢神経障害、関節筋肉痛、悪心、嘔吐、下痢、発熱等
- ・添加物として人血清アルブミンを使用しているため、投与初回時は同意書と投与毎に特定生物由来製品請求伝票が必要